

1 初期のニューヨークとセントラルパーク

- 1) 1797型街路計画(南北方向幅 100f,東西方向幅 60f)
- 2) 1807 マンハッタン島全域策定委員会 1811 公表 オープンスペース 7ヶ所 200h
- 3) 1851 公園取得の公園法 1853 セントラルパーク 340h \$ 507 万 受益者負担 32%
1865 人口 100 万(1811 9 万 6 千) 1857 公園設計コンペ

2 オルムステッド(Fredrick Law Olmsted 1822-)

- 1) 土木技師、貿易業、航海士、農場経営、雑誌経営、セントラルパーク監督官(35 歳)
- 2) コンペ応募 カルバート・ヴォー (建築家) と協同「緑の芝原 Greensward」当選
- 3) 都市の肺になるで円景観の創造 街路優先思想の変換
- 4) 4 系統道路の立体交差 ①横断道路 ②馬車道 ③乗馬道 ④歩道
- 5) 技術者集団の形成 建築、農業土木、公園、道路、暗渠排水など
- 6) 1878 ニューヨークを去りボストンへ パークウェイシステム
- 7) 1920 代からスポーツ施設 1960 パンダリズム⇒市民運動「緑の芝原」の再生

3 高さへの思い

- 1) バベルの塔 高さへの欲望・憧れと恐れ
- 2) ゴシックの尖塔 教会の尖塔
- 3) サンジミニアーノ 塔の街 高さの競い合い

4 摩天楼時代の可能性

- 1) 鉄骨構造 鋳鉄 ⇒ 鋼鉄
- 2) エレベーターの発明 上下交通の革命
- 3) 都市集中・人口密度? シンボルの意味
- 4) スカイラインの考え方 軒高の統一?

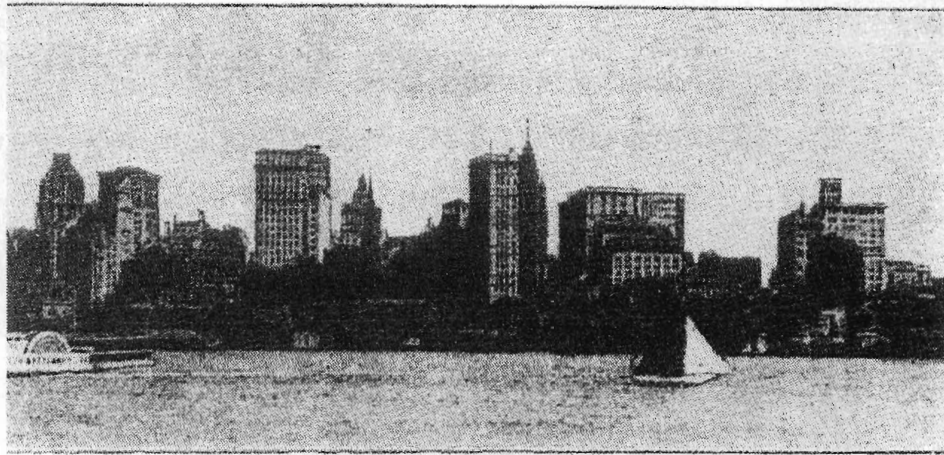
5 アメリカの摩天楼時代 1880 代以降

- 1) グリッドパターンの区画割 平等条件の確保 自由度
- 2) ヨーロッパでできなきこと ウールワース 1912 金儲けは善
- 4) クライスラービル (1930)、エンパイアステートビル (1931)
- 5) 自然成長する都市 床面積需要よりも記号的な意味
- 6) 新聞社の高さ競争 聖と俗の逆転
- 5) 伝統と成長 シカゴトリビューンタワー「世界で最も美しいオフィスビル」1922
ピルグリムズファーザーズ ライデンの家の煉瓦「新しき天と地を創りたまう地」

6 摩天楼の制御

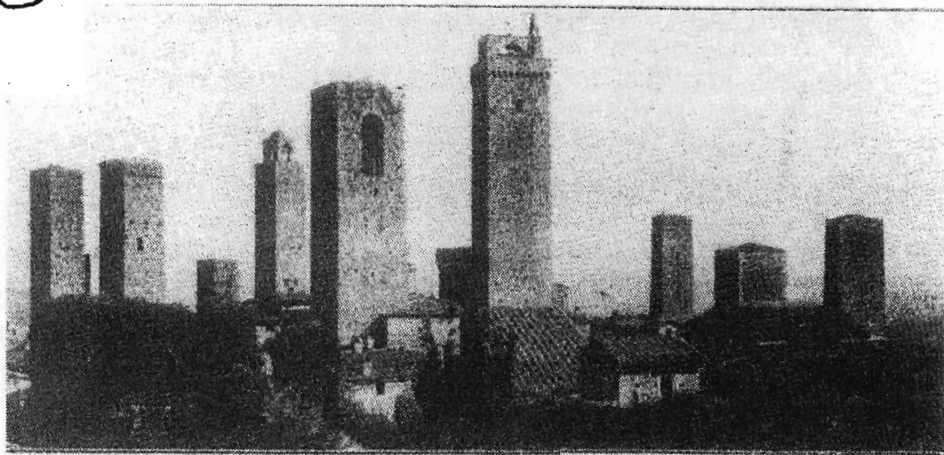
- 1) エドワード・バセット 弁護士、下院議員 ドイツ視察
- 2) ニューヨーク 建築物高度委員会 1913 1916 最終報告、ゾーニング条例
- 3) ウェディングケーキ型ビル クライスラー、エンパイアステート

①



New York vom Hudson aus gesehen.

②



San Gimignano von Rocca aus gesehen.

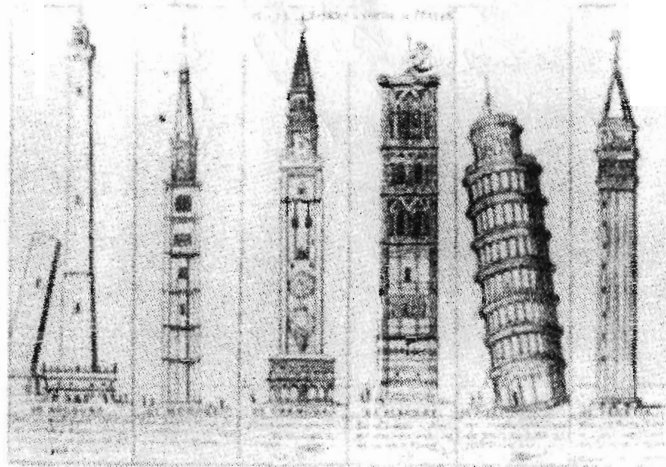
サン・ジミニアーノ

~~図95(1)~~ ①) —— ハドソン川から見たニューヨーク (Karl Lamprecht, *Americana*, Freiburg i.B., 1906, p.81)。

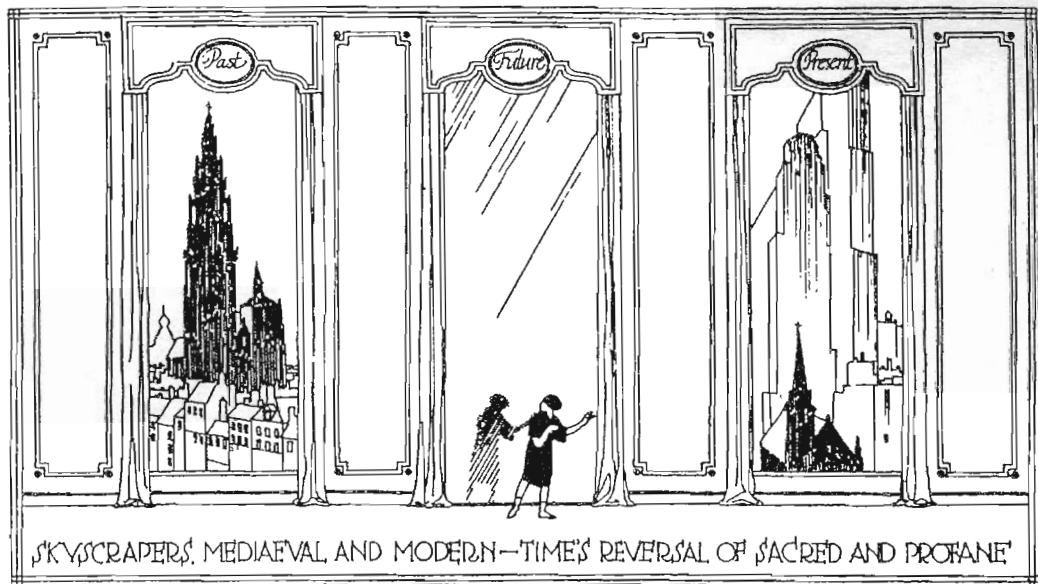
~~図95(2)~~ ②) —— ロッカからみたサン・ジミニアーノ (Karl Lamprecht, *Americana*, Freiburg i.B., 1906, p.82)。

~~図95(3)~~ ③) —— ジュゼッペ・マリア・ミテリ「イタリアの著名な七塔」(1701)。このテキストは、まったく単調だが大袈裟な調子が気にかかる (*Le collezioni d'arte della cassa di Risparmio in Bologna*, Vol. I, *Le Incisioni*, Giuseppe Maria Mitelli, a cura di Franca Varignana, Bologna, 1978, p.404)。

③



4



5



4 図 027 (上) ——「中世と現代の摩天楼。聖と俗の逆転の歲月」(Claude Bragdon, *The Frozen Fountain*, New York, 1932)。
5 図 027 (下) ——「映画の大聖堂」パラマウントビル(C・W & G・ラップ, ニューヨーク, 1926: 絵葉書)。



6

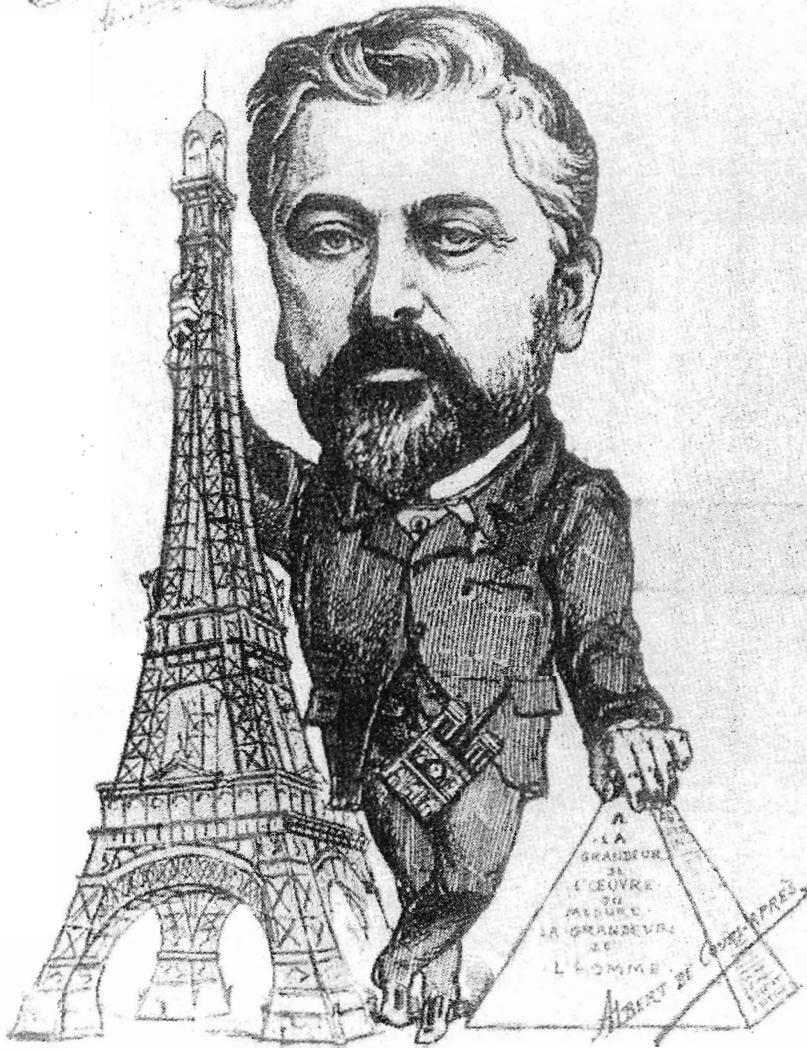
Nast

6

トーマス・ネイスト、マンハッタン先端に群がった摩天楼、ハーバース・ウィークリーのために描かれた漫画(1881: Charles Lockwood, *Manhattan Moves Uptown*, Boston, 1976, p.277)。



7



GUSTAVE EIFFEL (1889)

(in situ)

7

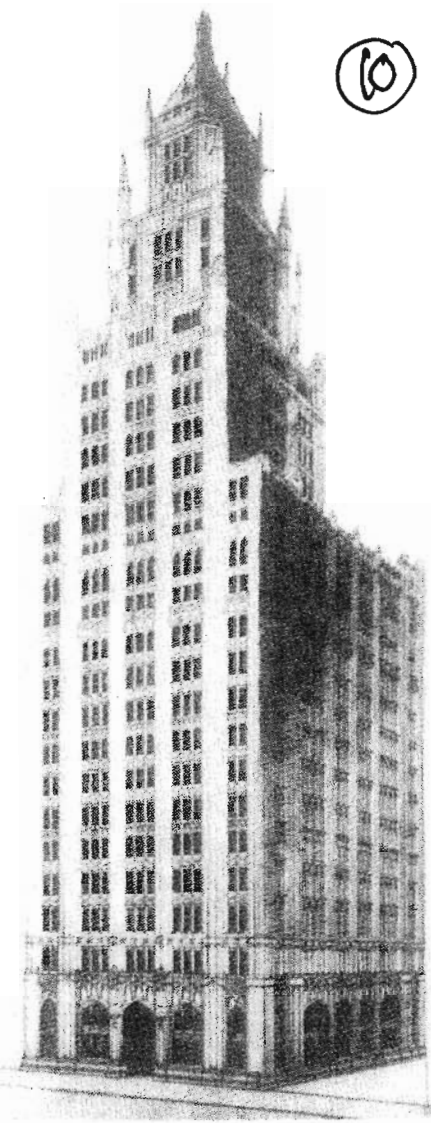
「作品の偉大さは人間の偉大さを示す」。3つの等式。すなわち、塔と同じ高さに描かれた人物像、人間の徳目にふさわしい大きさに描かれた塔、刻まれた格言の歴史的な正当性を保証するピラミッドである(*Le Central*, I, 4, 1889, facsimile edition)。

②

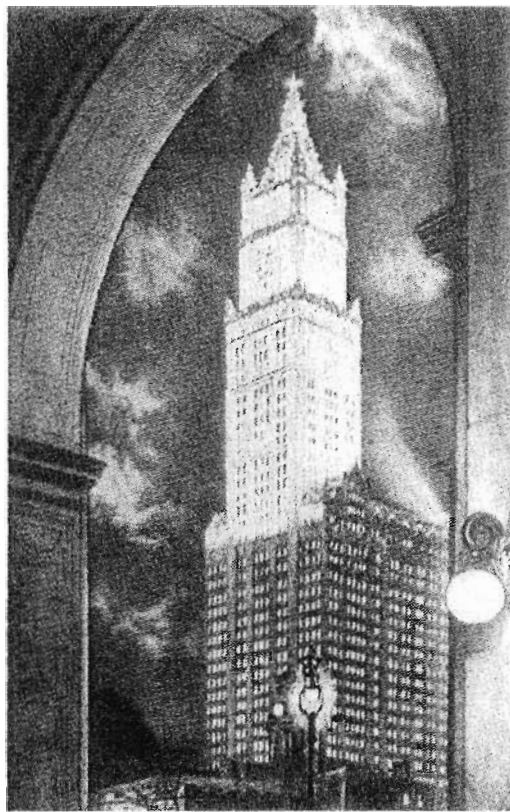


②

——ニューヨーク・トリビューンの設計競技案(ジョサイア・クリーヴランド・キャディ 1873: *The New-York Sketch-Book of Architecture*, 1874)。



10



9

9 (右) —— 「世界でもっとも美しいオフィスビル」、キャス・ギルバート設計のウールワース・ビル(ニューヨーク, 1913) (絵葉書)。

10 (左) —— リチャード・ヨシロウ・ミネ、シカゴ・トリビューン・タワー設計競技(1922)のデザイン (*International Competition for a New Office Building for the Chicago Tribune, Chicago, 1923, pl.82*)。



11

11

11 (右) —— (新)エクイタブル・ビル(アーネスト・R・グラハム, ニューヨーク, 1915)。「かつてはエクイタブル・ビルの屋上を見下ろし、空を享受していた周辺のビル群のオーナーやテナントたちは、マンモスの如く立ち塞がる新しいエクイタブル・ビルにおののいた」(絵葉書)。

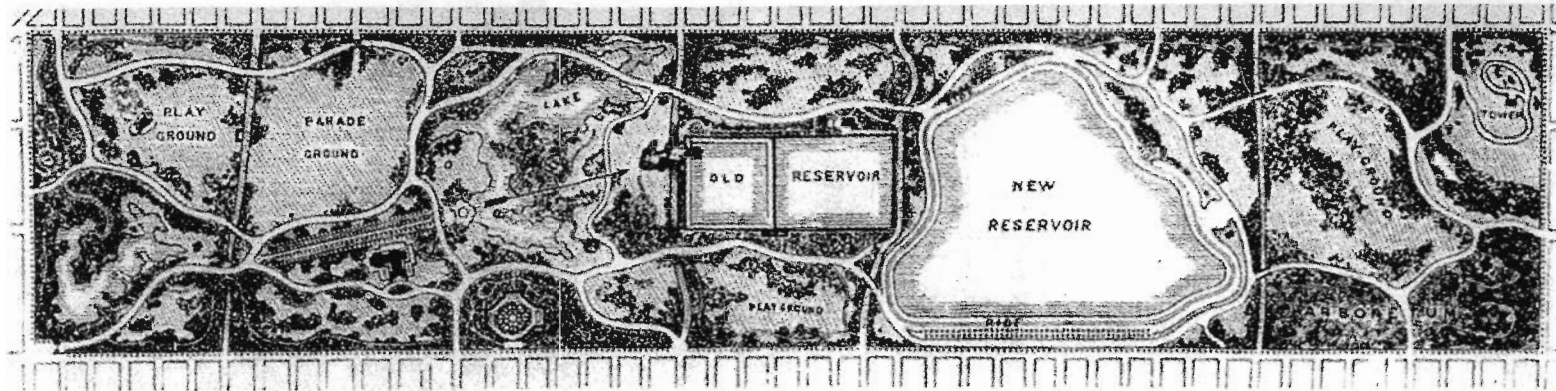


図1 セントラル・パーク競技設計第一位案“緑の芝原”(1858年)

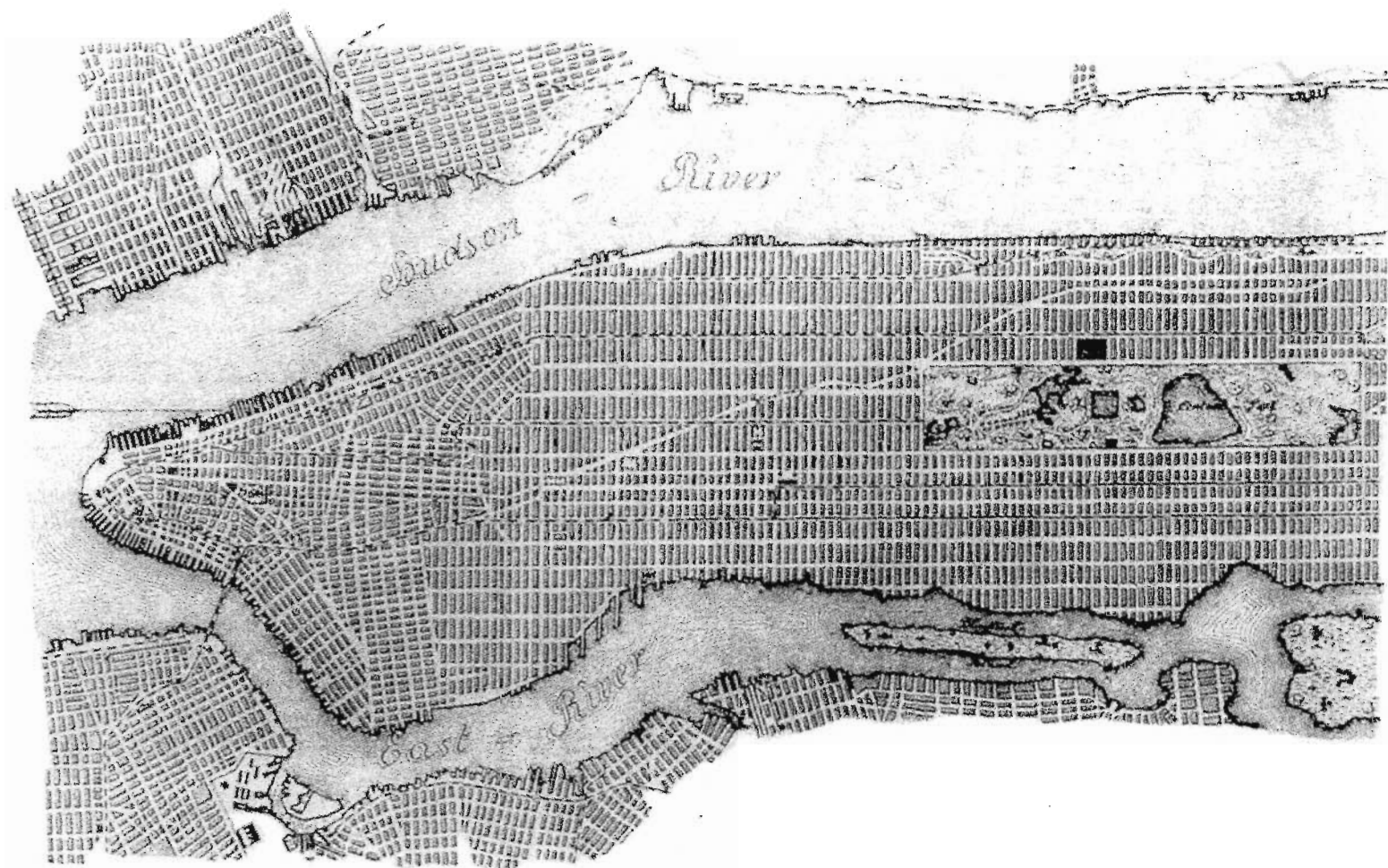


図2 マンハッタン南部計画図(19世紀中頃)